

流動負債

問題集p.56 **このページも採点に関わることが多く掲載！**

(1) 支払手形

仕入代金を支払うために振り出す手形を、「支払手形」

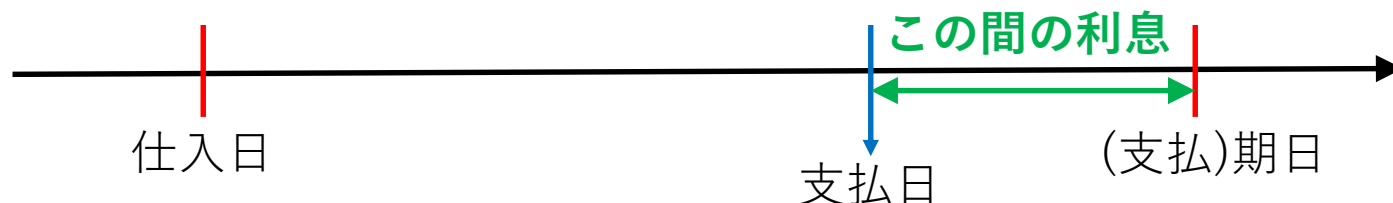
資金を借り入れるために振り出す手形を、「手形借入金」→短期借入金も参照

※3級範囲の**為替手形**が近年付記事項で出題されているので注意！

(2) 買掛金

買掛金を支払期日より前に支払った場合、**支払日から期日までの利息**を引いてもらうことがある。

これを**仕入割引勘定(収益：営業外収益)**で記帳する。



例：買掛金¥500,000を期日前に支払、契約によって2%の割引を受け、割引額を差し引いた金額を小切手を振り出して支払った。

仕訳

買掛金	500,000	／	仕入割引	10,000
			当座預金	490,000

(3)未払金

金額が比較的大きな場合などは、未払配当金・未払社債などの勘定科目を使う。

(3)短期借入金（重要！）

支払期限が決算日の翌日から1年以内に来る借入金

例：(決算整理：会計期間○1年4月1日から○2年3月31日)借入金¥500のうち¥200は○2年5月31日に支払期限が来る。

仕訳

借入金	500	／	短期借入金	200	(流動負債)
			長期借入金	300	(固定負債)

それと、

貸借対照表の「短期借入金」に入れる金額＝短期借入金＋手形借入金＋当座借越

非常に良く出される「引っかけ」。配点あり。

(5)未払費用：必ず出る！

未払利息・未払広告料・未払家賃など。決算の時、整理仕訳で必ず出題される。

貸借対照表では**未払〇〇は、「未払費用」とまとめて**(合計して)記載します。
ただし、**「未払法人税等」はまとめない**(合計しない)で、別枠に書きます！

(6)前受金 仕訳や付記事項の仕訳で最近少し出る。

(7)預り金 あまり出てこないが、出てきたとき、漢字と送り仮名のミスが多い勘定

(8)前受収益

前受地代や前受家賃など。決算の時、整理仕訳で必ず出題される。

貸借対照表では、**前受〇〇は、「前受収益」とまとめて**(合計して)記載します。

(9)未払法人税等：**必ず出る！**

(5)未払費用のところにも書きましたが、

「未払法人税等」 はまとめない(合計しない)で、**別枠に書きます！**

あと、地味なところですが、「未払法人税**等**」です。忘れないように。採点者は狙ってます…

(10)保証債務

手形の割引や裏書きを行った際に備忘記録として、仕訳を入れる。記録を残しておくのは、手形期日が来るまで。

手形期日が来たら、記録を相殺する仕訳をする。

【手形の割引・裏書きを行った】

保証債務費用／保証債務

【手形期日が来たら】

保証債務／保証債務取崩益

注意！：**手形期日が来れば、どのような結果になっても、「手形が不渡になった」などの場合も、保証債務／保証債務取崩益**を使う。（多い間違い：~~保証債務／保証債務費用~~）